



# 浪江町中心市街地再生計画

【概要版】

平成 29 年 3 月  
浪 江 町



# 1. 背景及び目的

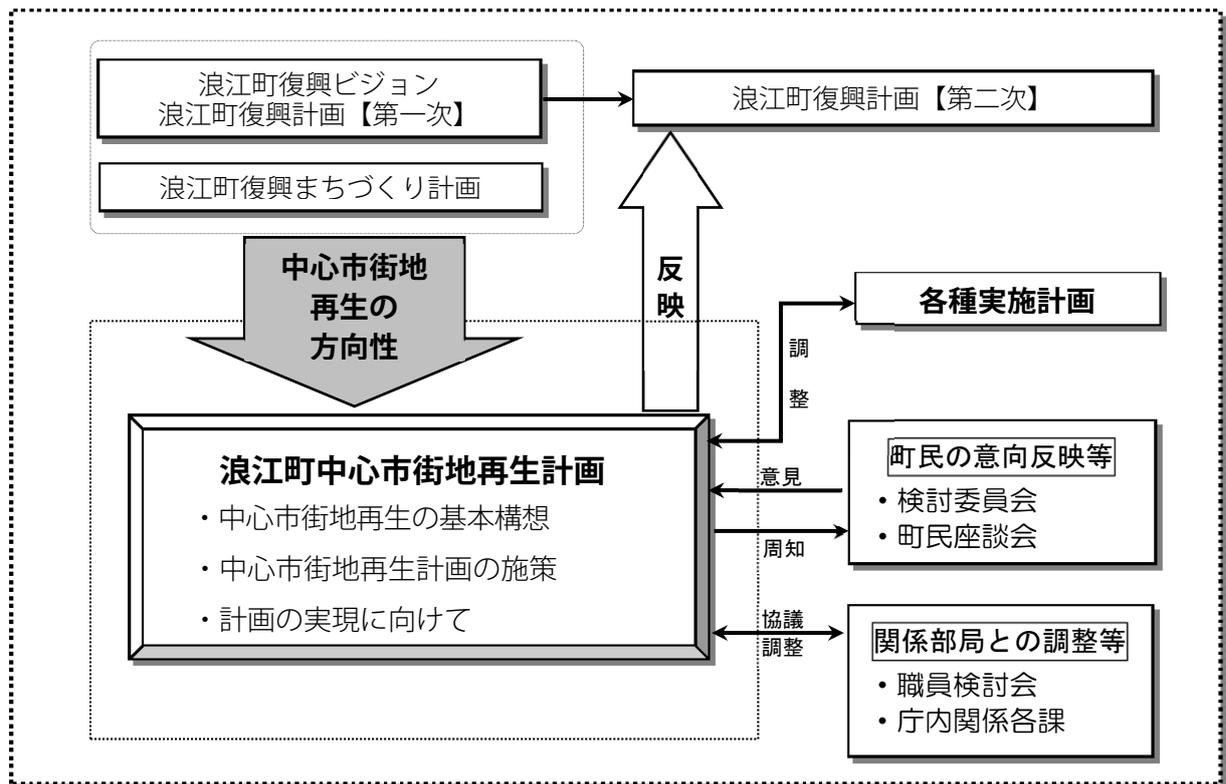
浪江町の住居・商工業・文化等の中心であった既存中心市街地の再生を図り、魅力的な中心市街地を形成することは、浪江町さらには双葉郡北部の復興の核として欠かすことのできない重要な要素であると認識されており、権現堂地区をはじめとする既存中心市街地における再生方針を早急に位置付けることが必要となっています。

このようなことから、中心市街地再生計画は、既往の復興計画等の方向性、復興の進捗状況、住民意向調査結果の現状と課題及び中心市街地再生計画検討委員会等で出された意見を踏まえ、町民が主体となるまちづくりが可能となるような中心市街地再生の方向性を明確にすることを目的としています。

中心市街地再生計画は、平成24年に策定された「浪江町復興ビジョン」や、ビジョンの内容を踏まえ策定された「浪江町復興計画【第一次】」、「復興まちづくり計画」などを復興状況の変化に応じて見直した「浪江町復興計画【第二次】」に中心市街地の将来像や再生の方向性を反映させるものです。



■ 対象区域と関連施設及び拠点施設位置図



■ 中心市街地再生計画の位置付け

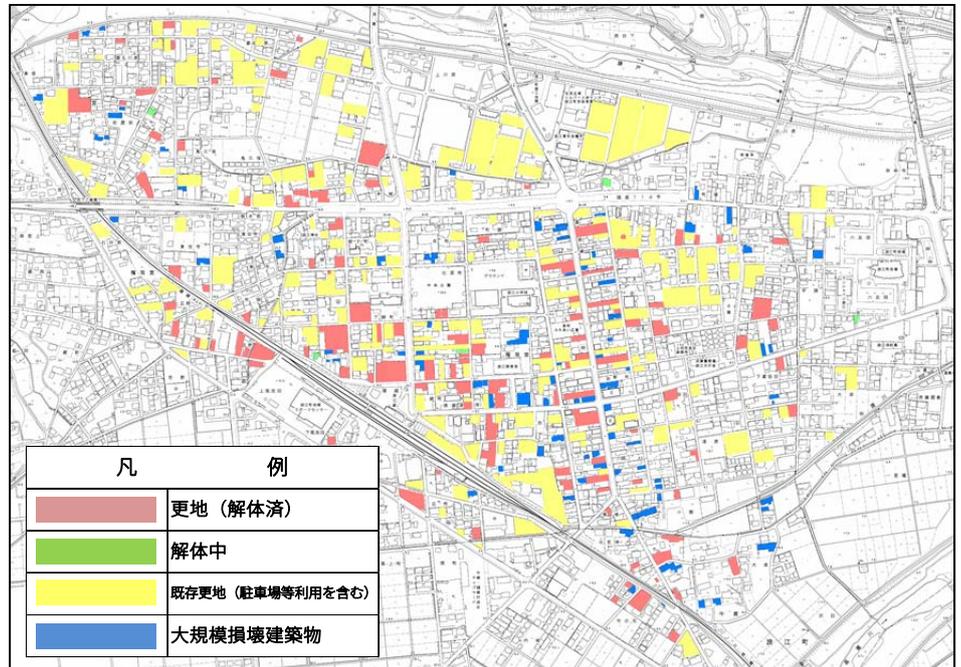
## ●計画目標年次

中心市街地再生計画の期間は、現在から概ね平成 29 年度にかけて行うものを「短期的に行うこと」、その後平成 33 年 3 月までに取り組むものを「中期的に行うこと」、平成 33 年 4 月以降のあるべき姿を「実現する将来像」と位置付け、段階的に計画します。

## 2. 中心市街地再生の基本構想

### ●空き地発生状況

- ・ 中心市街地においては震災による被害を受け、家屋及び店舗等の解体が進み、空き地が多く点在しています。また現在は青空駐車場として利用されている空き地も見受けられます。
- ・ 大規模に損壊している建築物もいまだ多く点在しています。



■ 空き地発生状況（平成 28 年 12 月現地調査時点）

### ●中心市街地再生の課題

①生活環境の改善	②医療、健康不安の払拭
③町民のための生活サービス、生きがい	④空き家、空き地の適切な管理と活用
⑤市街地の安全性と回遊性向上	⑥商店街のにぎわいや文化の復活
⑦新しいコミュニティの形成	⑧就業者の増加対策

### ●中心市街地再生の基本理念

浪江町中心市街地の再生には、町に多くの人が集まるようになることが大切であり、人々が快適に暮らし、商業機能が活性化され、にぎわいを回復することが求められます。

このためには、ふるさとなみえが受け継いできたものを生かし、未来へとつないでいくことも大切です。

このような考えに基づき、浪江町中心市街地再生計画における基本理念（テーマ）を次のように定めます。

みんなが集い、快適な暮らしとにぎわいのあるまちなか創生  
～ふるさとなみえを未来につなぐ中心市街地を目指して～

### ●中心市街地再生の目標

中心市街地の課題解決に対応した目標を以下のように定めます。

#### 安全・安心のまちづくり

医療、介護、健康づくり活動など健康を維持するサービスの充実、町民が生きがいを感じる活動ができる場と仕組みを設ける必要があります。また空き家、空き地管理、防犯、線量の情報提供などの活動により、帰町した方々が安全・安心な生活を送れるようになり、また帰町の希望を持つ方々の増加が期待できます。

## 暮らしやすいまちづくり

居住環境の整備により、帰町が困難な方々や、新たに居住される方々の居住の選択肢が増えることで中心市街地の人口増加、さらには就業者の増加による商業、事業の成立が期待できます。

## 集う・にぎわう・つながるまちづくり

商業施設が立地する場、人が集まり交流する場、イベントが行える場を確保するとともに、それをサポートする組織・仕組みを設ける必要があります。これによって生活の利便性を確保し、帰町者が生きがいを持って生活できる中心市街地の形成が期待できます。また、歩行者や自転車の回遊性を向上させ、公共交通を活性化させることで帰町された方が楽しく、潤いのある生活を送れるとともに、浪江を訪れる方が浪江の魅力に触れることができる中心市街地の形成が期待できます。さらには、帰町された方や新たに浪江に居住される方、すぐには帰町できない方、浪江を訪れる方の交流の場を設置し、一緒に好きな活動を行い、浪江の良さを再認識してもらうことで、浪江への関心の向上が期待できます。

## 浪江らしさがあるまちづくり

十日市や裸参りといった歴史、文化資源を活用した浪江らしい行事を復活させることで、人とのつながり、歴史や文化に触れて、ふるさとを感じ、町を離れている方の帰町する意思を高め、また日本中、世界へ浪江のよさを発信できるなどの効果が期待できます。

### ●中心市街地の構造

中心市街地の構造は、活用が可能な施設を中心とするいくつかの核と、核の間をつなぐ歩行者重視の回遊軸や、機能を連携、補完する仕組みのネットワークで構成するコンパクトタウンを目指す必要があります。



## 3. 中心市街地再生計画の施策

中心市街地には、課題である空き家、空き地が多くあり、中心市街地に立地している公共施設にも当面使用しない施設が存在しています。また浪江町の魅力を感じさせる文化、自然、歴史的資源が豊富です。

これらの資源を有効に活用しつつ、中心市街地再生の各目標の実現に向けて、対応する施策を示します。

### 安全・安心のまちづくり

#### 施策1 ➡ 安全・安心の確保

段階的行動計画	短期的に行うこと	●警察や消防と連携した市街地の見回り体制、町内の安全体制充実
	中期的に行うこと	●浪江診療所について診療科目の充実に取り組む
	実現する将来像	●安全・安心を確保する活動が定着し、帰町された方が安心して生活できるとともに、帰町に迷っている方も安心して帰町を選択できるまちが実現することを目指す

#### 施策2 ➡ 町民全体の健康な生活と生きがいづくり

段階的行動計画	短期的に行うこと	●既存公共施設に集える場、健康づくりの場を整備
	中期的に行うこと	●経験や趣味を生かしてリーダーとなり活動できる町民の方を育成する ●町民の健康を総合的に支援する
	実現する将来像	●高齢者への生活サポート活動をすることで「生きがい」を感じ、健康な生活を送ることができると、さらにコミュニティ活動としてつながる活躍の場が広がることを目指す

## 暮らしやすいまちづくり

### 施策3 ➡ 中心市街地での居住機能、多様な住宅、住環境整備

段階的行動計画	短期的に行うこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住宅清掃や住宅修繕が必要な場合の支援策の準備</li> <li>●多様な住宅供給方策の準備</li> </ul>
	中期的に行うこと	●空き家・空き地を帰町を希望される方への住まいとして斡旋
	実現する将来像	●居住者が増え、商業地と隣接したコパ <sup>®</sup> 外なまちの実現によって、一人暮らしの高齢者も安心して住めるまち、新たな居住者も安心できるまちを目指す

## 集う・にぎわう・つながるまちづくり

### 施策4 ➡ 人が集まる商店街の再生

段階的行動計画	短期的に行うこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歩行者の安全のため、歩道補修、空き家、空き地の草刈り、危険物の除去等</li> <li>●生産者と商店街が意見交換する場の設置</li> </ul>
	中期的に行うこと	●商店街を歩きやすく、イベント、屋台等で使用しやすい道路構造となるように整備
	実現する将来像	●新町通りとその周辺の通りに商業施設が復活し以前のにぎわいを取り戻すことを目指す

### 施策5 ➡ 帰町された方、将来帰町する希望のある方のための、既存公共施設を活用した交流拠点づくり

段階的行動計画	短期的に行うこと	●既存公共施設に活動拠点や歴史等の資料保管、展示ができるような整備
	中期的に行うこと	●既存公共施設の交流の場を、高齢者等の集いの場としての発展を目指す
	実現する将来像	●既存公共施設が帰町された方々の交流拠点として整備され、帰町が困難な方々にとって、帰町の希望をもたらず存在になることを目指す

### 施策6 ➡ 浪江を訪れる方へ発信し、交流する拠点づくり

段階的行動計画	短期的に行うこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●JR 東日本と連携し駅前に休憩施設、情報機能と町民の立ち寄り場を整備</li> <li>●バリアフリー化方策、にぎわい施設立地計画等の意見交換の場を設ける</li> </ul>
	中期的に行うこと	●道案内や見守りなどを行う語り部の常駐、利用者サービスと情報発信の充実
	実現する将来像	●サービス水準の高い駅、他の地域からも多くの人を集める魅力ある駅、憩いの場、町の顔として、にぎわいのある駅前を目指す

### 施策7 ➡ 楽しめる回遊まちづくり

段階的行動計画	短期的に行うこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公共交通と連携したデマンド<sup>®</sup>交通を導入する</li> <li>●中心市街地回遊ネットワークの形成</li> </ul>
	中期的に行うこと	●歩行空間不足、狭あい部は通行の容易性を検討。タビナビ <sup>®</sup> 導入(高齢者配慮)
	実現する将来像	●回遊性と利便性が向上することで、コパ <sup>®</sup> 外なエリア内で目的が達成され、安心して整理され統一感のある街並みの形成を目指す

## 浪江らしさがあるまちづくり

### 施策8 ➡ 伝統文化の再生と新たな文化の創出

段階的行動計画	短期的に行うこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●十日市等の行事再開に向けた既存公共施設で活動する場の整備</li> <li>●民俗施設を集約する場の整備</li> </ul>
	中期的に行うこと	●再開イベントをさらなるにぎわいや発信に役立つような工夫
	実現する将来像	●十日市の浪江での復活や、歴史資源の生涯学習への活用によるにぎわい創出や、新たな町民等が復興の「アライブ」 <sup>®</sup> として新たな文化を創出することを目指す

### 施策9 ➡ 浪江らしい魅力ある景観づくり

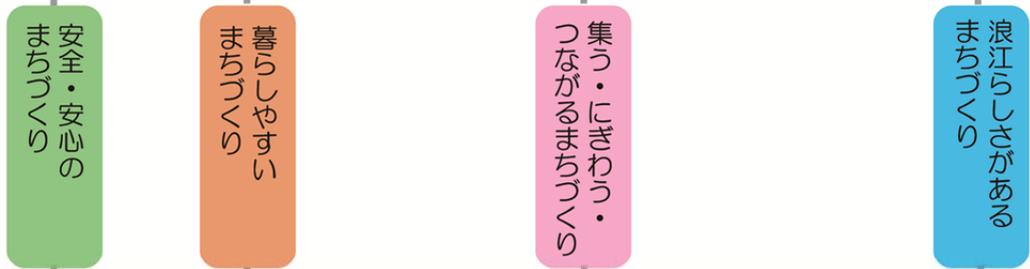
段階的行動計画	短期的に行うこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●沿道型施設や駅前には魅力ある景観形成を図るため、建物再建できるよう準備する</li> <li>●公共空間の景観改善について意見交換の場の設置</li> </ul>
	中期的に行うこと	●事業者、町民による景観協定を目指す
	実現する将来像	●治水事業時に可能な箇所は親水護岸等として、景観形成や河川を利用したレクリエーションに役立てるような働きかけを行う

中心市街地再生計画の基本理念及び4つの目標、9項目の施策にかかる体系図を以下に示します。

□ **基本理念**

みんなが集い、快適な暮らしとにぎわいのあるまちなか創生  
～ふるさとを未来へつなぐ中心市街地を目指して～

□ **目標**

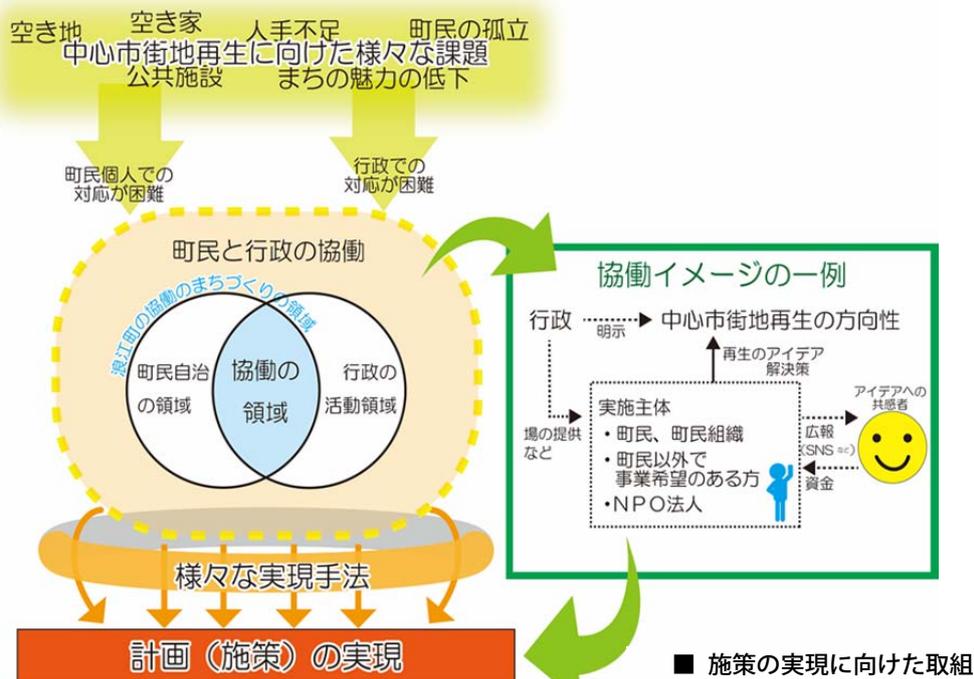


□ **施策**



**4. 計画の実現に向けて**

中心市街地再生計画の実現に向け、ソフト、ハード両面の事業を推進する上で、行政単独で解決することが困難な面が多々あることから、町民、事業者、行政が一体になった「協働によるまちづくり」を推進します。



# 施策の実現手法

## ① 町民等の活躍（組織設立、担い手の確保と育成）

- ・まちづくり会社、シルバー人材センター等の組織運営
- ・中心市街地再生を目指し、町民、事業者による「中心市街地再生協議会」の設立
- ・NPOやボランティア活動の支援
- ・町と町民の意見交換の場から、まちづくりの担い手となる人材を育成

## ② 空き家、空き地の活用に向けたマッチング支援

- ・空き家・空き地バンクの充実及び情報共有
- ・所有者、町民、事業者に対し、活用意向調査と相談窓口の支援
- ・公的に借り上げ、休憩スポット、歩行空間、広場等に活用

## ③ 既存公共施設の活用

- ・既存公共施設の利活用方針を策定

## 【参考資料】検討委員会・職員検討会・町民座談会での意見聴取

中心市街地の再生にあたり、町民や学識経験者、各種団体の役員等で構成される「検討委員会」及び町役場の職員で構成される「職員検討会」、震災前に中心市街地に居住されていた方に参加いただいた「町民座談会」を開催し、下記の日程で広く意見を聴取しました。

開催回	日時	開催場所	協議内容
第1回	平成28年9月26日	浪江町役場 二本松事務所	・委嘱状交付、正副委員長選任 ・委員会の進め方、スケジュール ・中心市街地再生についての思いを語る
第2回	平成28年10月28日	浪江町役場本庁舎	・現地視察 ・第1回委員会の振り返り、町民座談会の結果報告 ・中心市街地再生の具体的議論
第3回	平成28年12月7日	浪江町役場本庁舎	・第2回委員会の振り返り、町民座談会、第3回職員検討会の結果報告 ・検討委員会報告書（概要）の検討
第4回	平成29年2月23日	浪江町役場 二本松事務所	・報告書内容の確認 ・検討委員会報告書提出



意見を中心市街地再生計画で整理

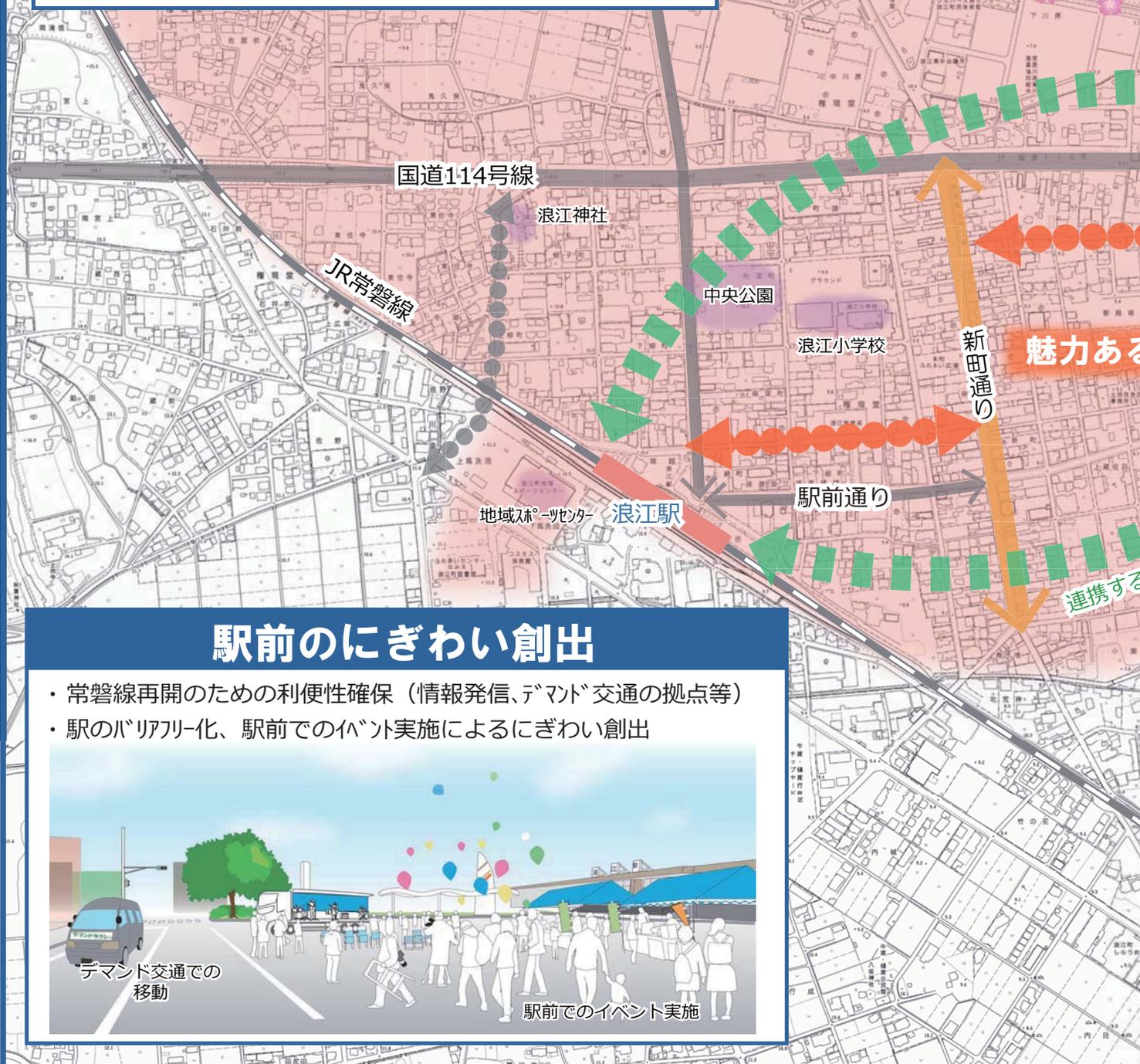
開催回	日時	開催場所	協議内容
第1回	平成28年9月8日	浪江町役場本庁舎	・浪江の中心市街地像とは ・そのために必要なプロジェクトとは
第2回	平成28年10月17日	浪江町役場 二本松事務所	・検討委員の思い並びに町民座談会の結果を踏まえた検討 ・第2回検討委員会への提出資料の検討
第3回	平成28年11月17日	浪江町役場本庁舎	・現地視察 ・中心市街地再生計画プロジェクト案の議論
第4回	平成29年1月24日	浪江町役場本庁舎	・検討委員会報告書（案）の議論 ・中心市街地再生計画について

開催回	日時	開催場所	協議内容
第1回	平成28年10月16日	福島市あつまっぺ交流館	・以前の中心市街地について ・これからの中心市街地について ・再生に向けた取組について
第2回	平成28年10月16日	浪江町役場 二本松事務所	
第3回	平成28年11月6日	いわき市 なみえ交流館	
第4回	平成28年11月6日	浪江町 浪江町役場本庁舎	

# 浪江町中心市街地再生

## 既存公共施設の活用

- ・ 既存公共施設の一部を活動拠点として整備（多目的利用のスペース）
- ・ 文化資料を活用した歴史教育や生涯学習の教育の場



## 駅前のにぎわい創出

- ・ 常磐線再開のための利便性確保（情報発信、デマンド交通の拠点等）
- ・ 駅のバリアフリー化、駅前でイベント実施によるにぎわい創出



# 再生計画の将来イメージ

： 中心市街地再生計画対象区域

## 新町通りののにぎわい再生

- ・ 駐車場、トイレ、休憩施設などが設置されイベント等でのにぎわい
- ・ 空き家を集約して、集客性のある施設の立地確保



## 中心市街地の核を結ぶ回遊路整備

- ・ 回遊路に歩行者や自転車アクセス、高齢者のための交通など確保
- ・ ウォーキングコースの設定や、マラソン大会やウォークラリーなどイベントの育成

